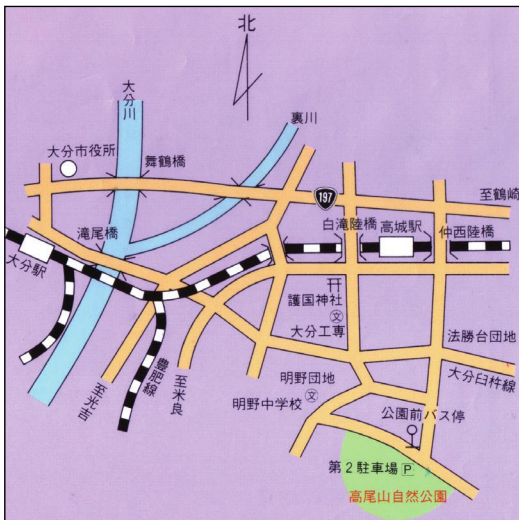


アプローチ

- バス……公園前バス停（公園正面入口まで約5分）
- 駐車場……第2駐車場 59台、第3駐車場 170収用可



フィールドストーリー

高尾山自然公園は、大分市中央部北寄りの丘にあります。この丘に以前からあった森林に道をつくり、新たな植え込みを試みながらの散策によい場所としています。

観察コースに沿って歩くと、コジイのような常緑広葉樹の林、冬に葉を落とすコナラのような落葉広葉樹の林、これらの林にヒノキやスギなどを交えた林などが見られます。

園内には、林の中の背の低い木や下草が切り取られて、自然の林の様子が見られない所もあります。しかし、それぞれの林にはそこに適した生物が生活しているので、こずえから地面まで気をつけて観察しましょう。

また、木の実（どんぐりなど）の違い、林の種類によるこの違い、季節による木の葉の色の变化（紅葉など）、梅雨、真夏や秋の動物の種類や動きなどにも目を向けると、より楽しい自然観察ができるでしょう。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 公園利用の注意に従い、林内や禁止区域への立ち入りは止めましょう。
- 観察コースの道でもマムシには十分気をつけましょう。
- 夏から秋にかけてハチが活動していますので、刺激しないようにしましょう。
- ハゼノキやウルシなど、かぶれる植物にはさわらないようにしましょう。



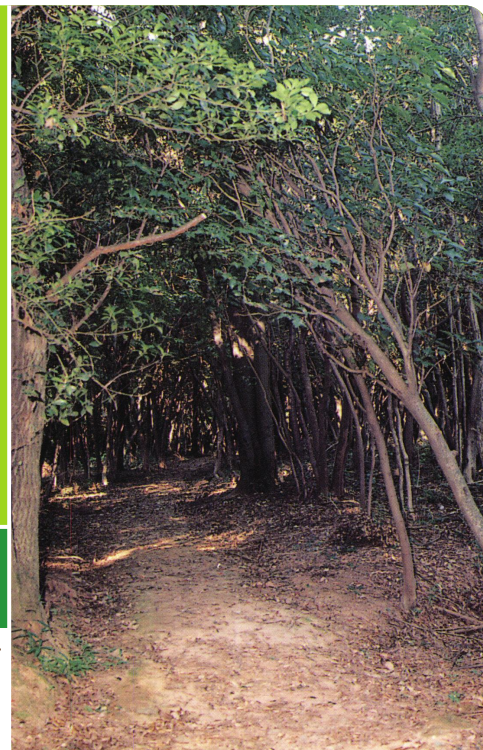
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

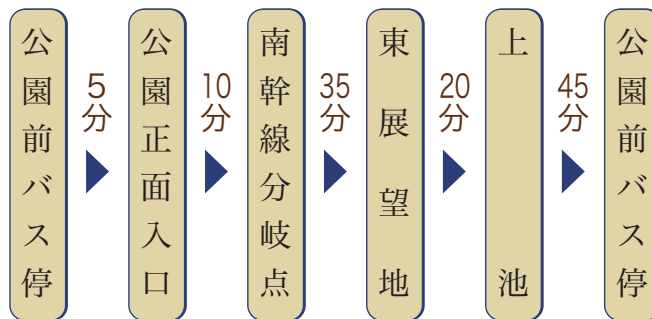
自然観察ガイド

No.1 高尾山自然公園 コース



コースタイム

●徒歩……約 2 時間（観察時間を入れて）



大分市



キンラン (春)



ノアザミ (春～夏)



ナナミノキ (夏)

OITA 自然観察ガイド

No.1 高尾山自然公園 コース



ノイバラ (初夏)



ムラサキシメジ (秋)



スズグロシロチョウ (初夏)



ホオジロ



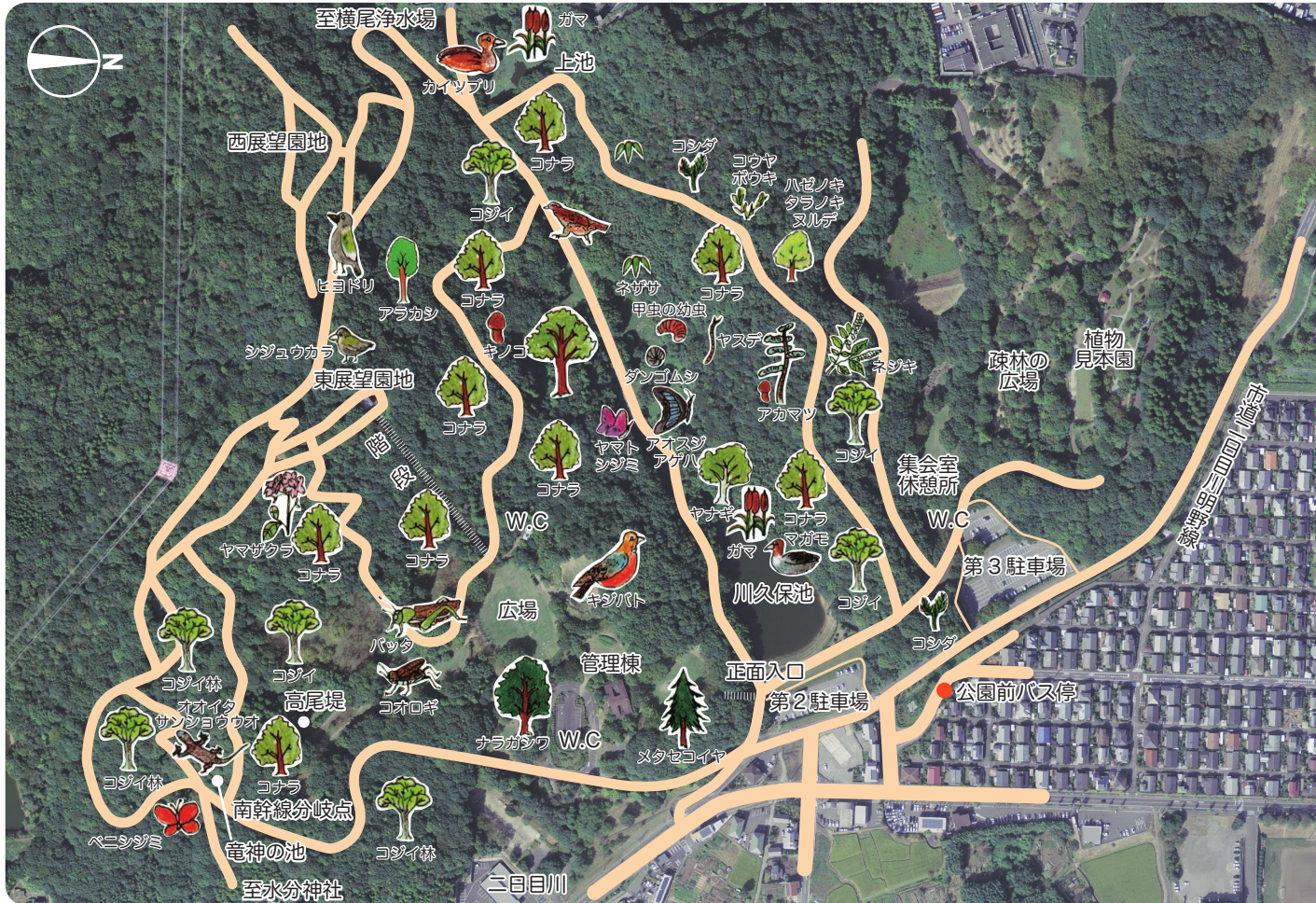
ムラサキヤマドリタケ (秋)



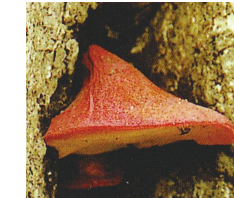
ガマ (夏)



ツチグリ (冬)



ノキノブ



カンゾウタケ (初夏)



コシダ



クリの花 (初夏)



オオイトサシヨウウオ (冬～初春)



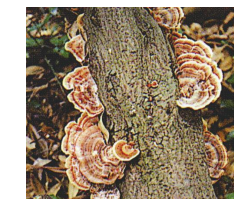
ベニシダとシシガシラ



オオオカマキリ (夏)



アブラゼミ (夏)



ウチワタケ (夏)

アプローチ

- バス……バス停は、広内の九六位山登山口バス停です。そこから円通寺まで歩いて1時間程かかります。
- 駐車場……約200台収容可



フィールドストーリー

くろくわいさん
九六位山峠からサクラ並木を登りつめると九六位駐車場につきます。駐車場の南側にある経塚遺跡は、シイの森で、森の中では、ウグイスやメジロなどの野鳥のさえずりが一年中楽しめます。

駐車場の北側は、石段となっていて、円通寺の参道となっています。参道の左側には市の名木であるイチョウ、カヤなどの大木があります。

円通寺の西側は、散歩道となっていて、モウソウチク林やコジイ林の中を20分程歩くと九六位キャンプ場につきます。キャンプ場は緑のジュウタン状の草原となっており、春から秋まで、それぞれ季節の野草の花を観察することができます。

また、チョウ、バッタ、トンボなどの昆虫類も多く、豊かな自然を楽しむことができます。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- マムシに注意しましょう。
- 観察道にはハゼやイラクサなどのかぶれる植物があるので、素手で植物をさわらないようにしましょう。
- イチョウの大木付近には立ち入らないようにしましょう。
- 管理棟へ通じる車道は使えません。
(足の不自由な方は、円通寺へ申し出れば、車の通行ができます。)

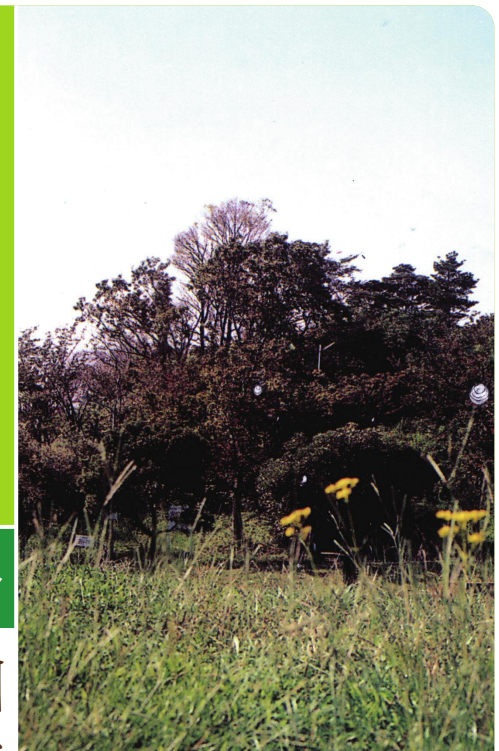
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

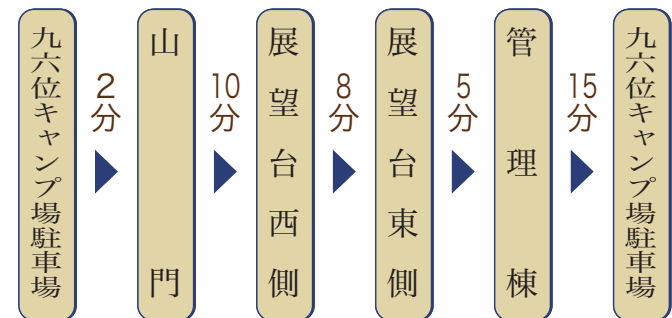
自然観察ガイド

No.2 丸六位山
コース



コースタイム

●徒歩……約1時間(観察時間を入れて)



大分市



ミヤマセセリ (春)



ヤブラン (秋)



コウゾリナ (春~夏)

OITA

自然観察ガイド

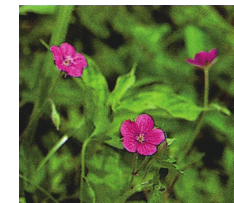
No.2 九 六 位 山 コース



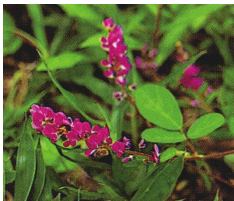
ヒメジョオン (初夏)



タヌキマメ (夏)



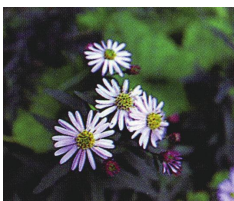
ゲンノショウコ (夏)



シバハギ (秋)



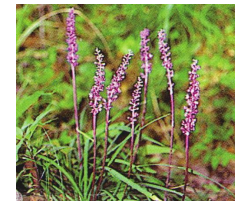
オミナエシ (秋)



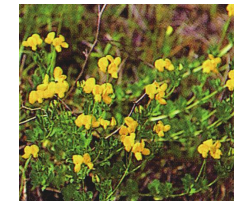
ヨメナ (秋)



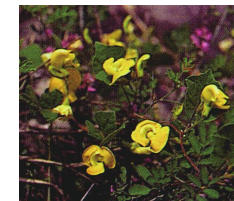
シャガ (春)



ヤブラン (夏)



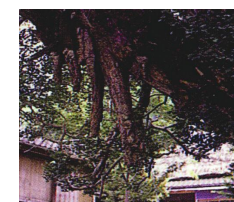
ミヤコグサ (夏~秋)



ノアスキ (夏)



ニホントカゲ (夏)



イチヨウの乳根



アリジゴクの巣 (ウス/カゲロウの幼虫)



アプローチ

乙津川コース

- バス……海原橋東バス停から約5分



大在海岸コース

- バス……国立病院入り口バス停から約1分
- 自家用車……大在大分港線の国立大分病院入り口からクリーク側へ
- 駐車場……約10台収用可



自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 干潟の植物群落（とくにハママツナ、ハマサジなど）を足でふまないように気をつけましょう。
- カニ類の巣穴やフトヘナタリなどの貝をふみつけないように注意しましょう。
- 干潟は足がはまりこむことがあるので、十分に注意しましょう。



フィールドストーリー

干潟とは、河口付近での満潮の時に水にひたされ干潮の時には陸上に現れる泥や砂でできた浜のことをいいます。干潟には、ほかの場所で見ることができないめずらしい植物や動物がすんでいます。最近、河口や海岸の工事のために、全国的に干潟の自然が失われていますが、大分市に残されているこの二つの干潟には、今でも自然の動物や植物が生活しているのです。

植物ではハママツナ・ハマサジ・フクド・ナガミノオニシバなどが、環境のちがうところにそれぞれ群落をつくっています。

このような植物や打ち上げられたゴミ・藻類などを食物として、トビムシ・ゴカイ・カニ・貝の仲間が多く生活しています。とくにカニ類の生活や行動の仕方はとても興味深いものがあります。

また、このような小動物を食べにたくさんの方の鳥たちがやってきます。干潟は春と秋の渡り鳥の大切な休憩場所でもあるのです。

Return to Nature
自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.3 乙津川・大在海岸コース

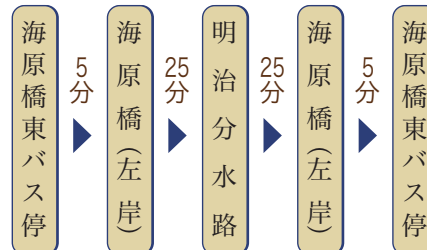


コースタイム



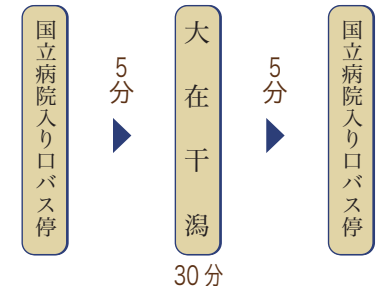
<乙津川コース>

- 徒歩……約1時間（観察時間を入れて）



<大在海岸コース>

- 徒歩……約40分（観察時間を入れて）



大分市



ハマボウフウ (夏)



ハマヒルガオ (夏)



ハマサジ (秋~初冬)

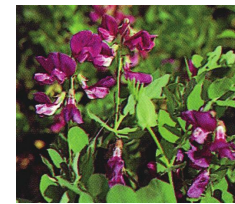
OITA

自然観察ガイド

No.3 乙津川・大在海岸コース



コウボウムギ (初夏)



ハマエンドウ (春~夏)



コウボウシバ (夏)



コサギ



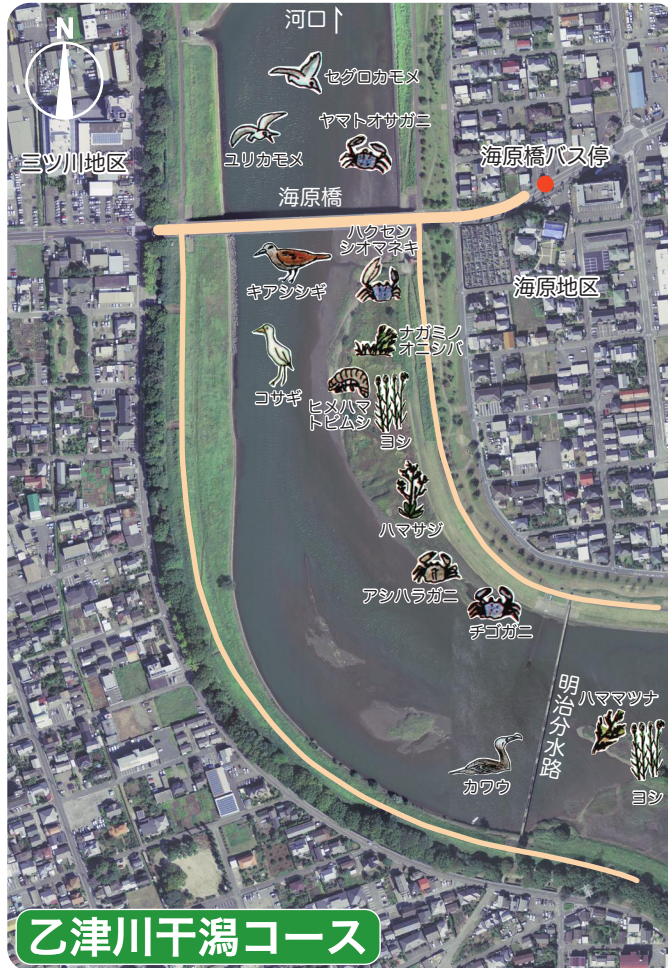
ヒメハマトビムシ



アシハラガニ



カワウ (冬)



ハママツナ (夏~初冬)



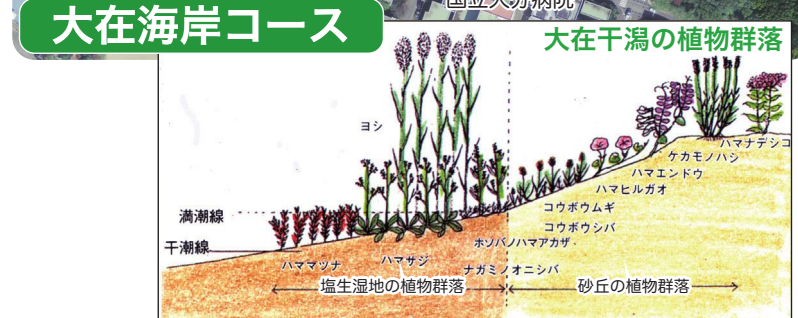
フトヘナタリガイ



シジミの仲間



ユビアカベンケイガニ



ニホンスナモグリ



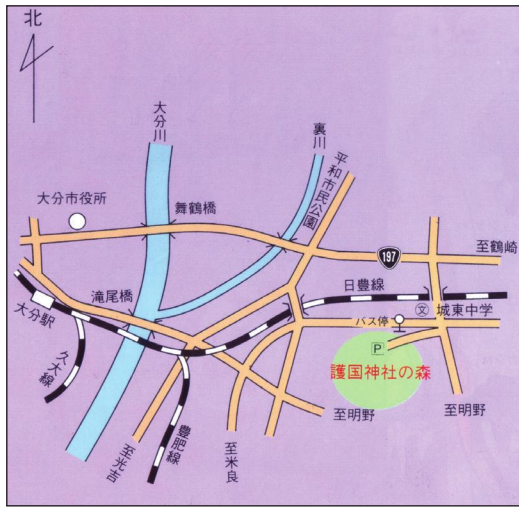
ルイスハンミョウ (夏)



ハクセンシオマネキ

アプローチ

- バス……城東中学校前バス停
(明治水路記念碑まで約5分)
- 駐車場……約70台収用可



フィールド ストーリー

護国神社は、大分市の市街地や臨海工業地帯をひと目で見わたすことができる高台にあります。

広い境内はアラカシやコナラの林におおわれ、春はブンゴウメやサクラの花、夏は昆虫採集、秋はドングリ拾い、冬は落ち葉を踏んでの散歩など、四季を通して自然を楽しむことができます。参道は、緑につつまれて小鳥がさえずり、樹木には名札が下がっています。池にはカルガモがすみつき、夏は甲ら干しをしているイシガメや牛に似た声で鳴くウシガエルがみられます。小川に沿ったスギ林の中はシダ類が群生し、水辺にはセキショウがはえています。東の尾根の山道を登ると、初夏はコナラの新緑、スズランのような花がすずなりのネジキ、ヤマツツジの赤い花が人目をひきます。夏は、コナラやクヌギの樹液にカブトムシやクワガタが集まります。秋から初冬はハゼノキやコナラの紅葉が美しく、ここには今も里山の風景が残っています。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 必ず社務所に届けましょう。
- 小川の流れる谷間の道は行き止まりです。また、マムシには注意しましょう。
- 森の中は蚊が多いので、服装は長袖のシャツ、長ズボンを着ましょう。
- 池の周りの柵を越えて立ち入ってはいけません。



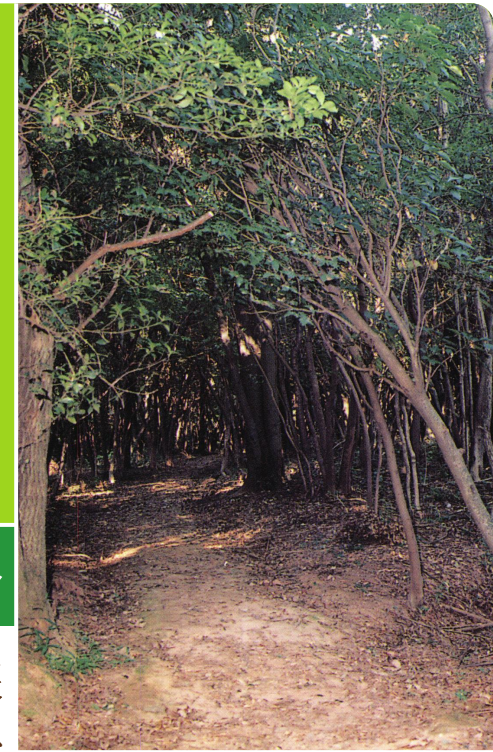
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.4 護国神社の森 コース



コースタイム

●徒歩……約1時間 (観察時間を入れて)



護国神社駐車場

5分

アラカシ林階段を下る

15分

小川に沿った森の道を往復

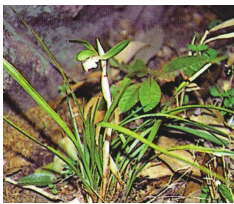
10分

明治大分水路記念碑横
山道を往復

20分

護国神社駐車場

大分市



シュンランの花 (春)



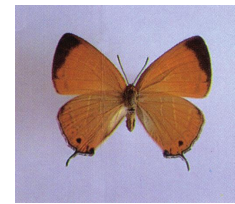
ムサシアブミ (初夏)



イノデ (夏)

OITA 自然観察ガイド

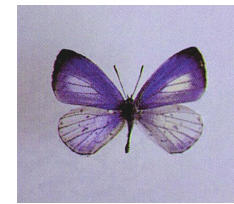
No.4 護国神社の森コース



アカシジミ (夏)



ミカドアゲハ (夏)



サツマジミ (春～秋)



ヤマツツジ (初夏)



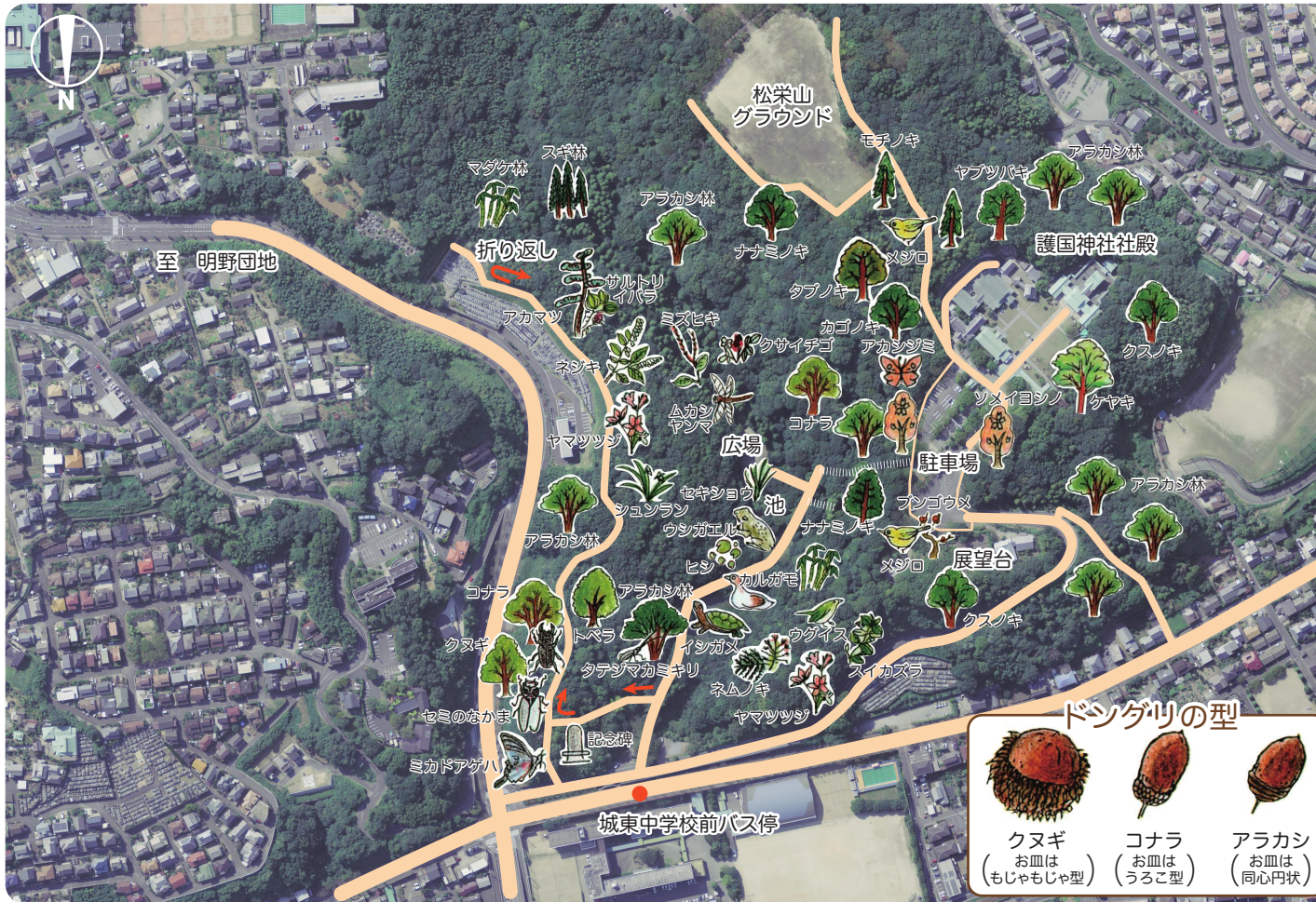
ネジキの花 (初夏)



セキリョウ (春)



トベラの花 (初夏)



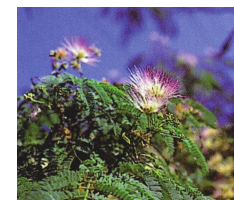
イシガメ (夏)



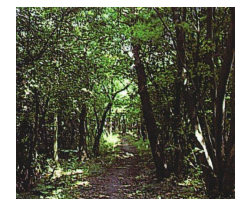
ヒシの池とウシガエル



メジロ



ネムノキ (夏)



アラカシの林



カルガモ

アプローチ

米良川合流点…②

- 駐車場……約 20 台収用可
- バス……大門橋バス停から徒歩約 5 分
広瀬橋バス停から徒歩約 10 分

賀来川合流点…④

- 駐車場……約 30 台収用可
- バス……桑原上バス停から徒歩約 5 分

植田西中学校前のせき右岸…⑤

- 駐車場……約 10 台収用可
- バス……植田西中学校前バス停前

※舞鶴橋上流①、大分刑務所の裏③の 2 地点は、
駐車場がないため、自転車などを利用しましょう。



自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 川岸がコンクリートブロックになっているところはすべり落ちないように注意しましょう。
- 大きな声は禁物。近寄らないで静かに観察しましょう。
- 服装はカラフルにならないよう注意しましょう。
- 最低、これだけは準備しましょう。双眼鏡、野鳥図鑑、記録用ノート

発行人……大分市 編集者……大分生物研究会 平成 29 年 3 月



フィールド ストーリー

市民に親しまれている大分川の堤防上には、「自然とのふれあい」とと、野鳥案内板が 5 か所に立っています。探鳥場所は案内板のある上下流域が観察に適しています。

- ①舞鶴橋上流の左岸…カモ類やカモメ類が身近にみられます。
- ②米良川の合流点…水辺の鳥と山野の鳥が多くみられるので最も観察に適しています。
- ③大分刑務所の裏…七瀬川合流点付近が観察に適しています。
- ④賀来川合流点…小さい中州や瀬、淵があっという間にいろいろな鳥がみられます。
- ⑤植田西中学校前のせき…自然環境がよくツクシガモやツバメチドリなど珍しい鳥に出合えます。

年間をとおして多くの鳥が生息していますが、水辺の鳥が中心になります。探鳥時期としては冬鳥のカモ類やカモメ類などが飛来する 10 月から、夏鳥のオオヨシキリやコアジサシなどが飛来する 5 月迄の間がよいでしょう。シギ・チドリ類は春と秋の渡りの時期によくみられます。



Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.5 大分川下流域探鳥 コース



コースタイム



- ①舞鶴橋上流の左岸 約 1 時間 (観察時間を入れて)
- ②米良川の合流点 約 1 時間 (観察時間を入れて)
駐車場 ⇒ 米良川合流点 ⇒ 駐車場
- ③大分刑務所の裏 約 1 時間 (観察時間を入れて)
- ④賀来川合流点 約 1 時間 (観察時間を入れて)
駐車場 ⇒ 賀来川合流点 ⇒ 駐車場
- ⑤植田西中学校前のせき右岸 約 1 時間 (観察時間を入れて)
駐車場 ⇒ 植田西中学校前のせき ⇒ 駐車場

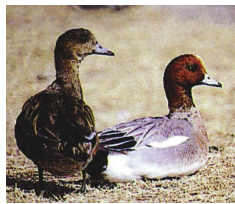
大分市



カルガモ



マガモ (冬)



ヒドリガモ (冬)

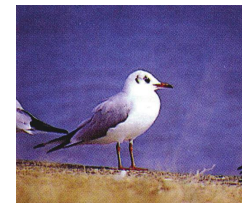
OITA

自然観察ガイド

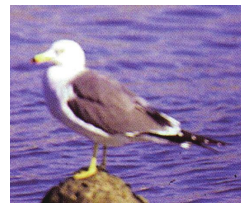
No.5 大分川下流域探鳥コース



セグロカモメ (冬)



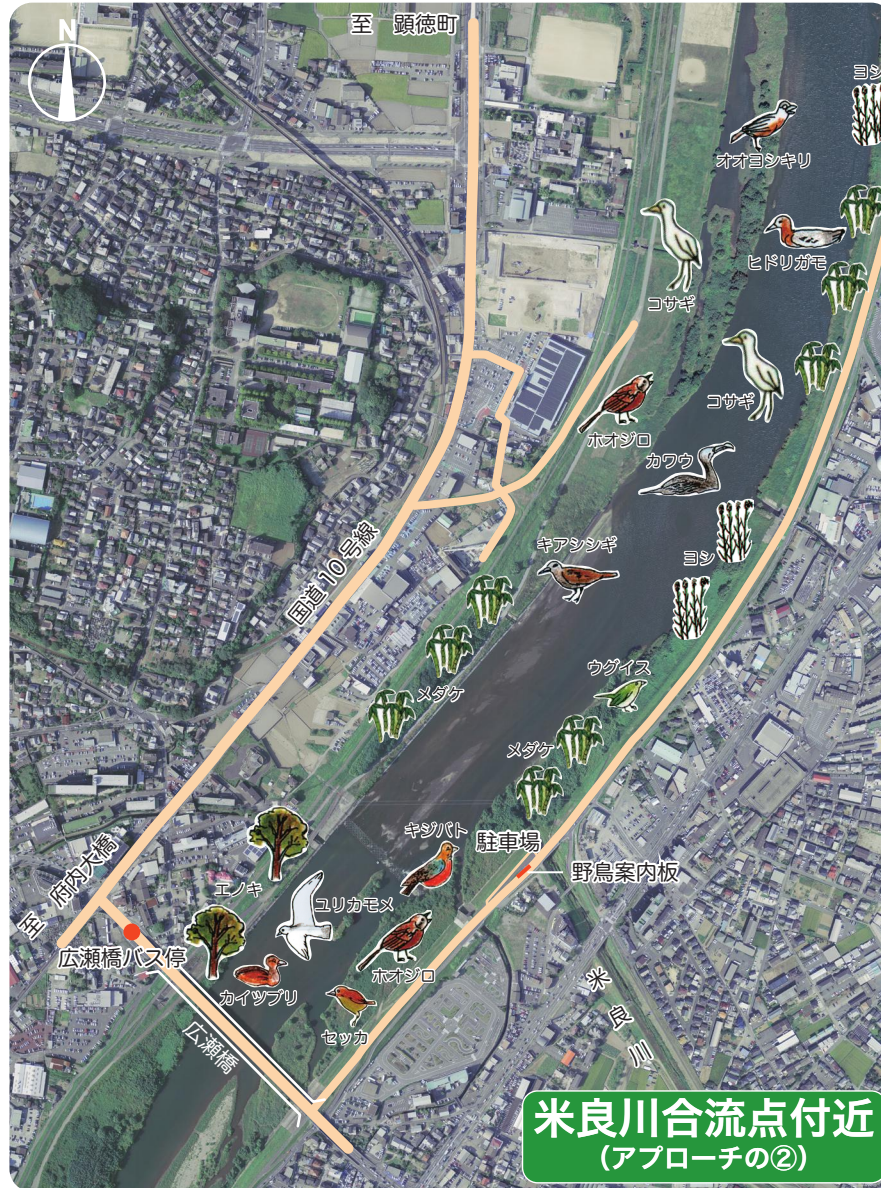
ユリカモメ (冬)



ウミネコ (冬)

バードカレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
留鳥	カイツブリ												
	ゴイサギ												
	コサギ												
	ダイサギ												
	アオサギ												
	キジバト												
夏鳥	ササギ												
	ゴイサギ												
	オオヨシキリ												
旅鳥	チュウシャクシギ												
	キアシシギ												
冬鳥	カマモ												
	ワガモ												
	コガモ												
	ヒドリガモ												
	ユリカモメ												
	セグロカモメ												
	ウミネコ												



コサギ



キアシシギ (春と秋)



アオサギ



トビ



カワラヒワ



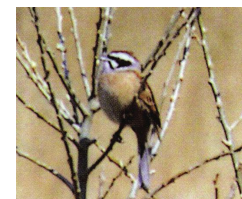
カイツブリ



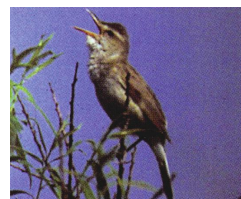
ハシボンガラス



カンムリカイツブリ



ホオジロ



オオヨシキリ (夏)



アプローチ

- バス……柞原八幡宮バス停
- 駐車場……北川駐車場約 50 台、高崎山登山口側約 50 台



フィールドストーリー

柞原八幡宮は歴史が古く、参道の石段を上ると左側に国の天然記念物の大クスノキ、神殿の後はこんもりと茂った森があります。この森はイチイガシ、コジイ、イスノキ、ヤブツバキなど、暖かい気候に適した常緑広葉樹が生い茂って、今も原生林の姿を保っています。煎ると香ばしいイチイガシやコジイのドングリは、石器時代の人びとの大切な食糧でした。

東の参道を通って、森の中を観察してみましょう。いろいろな種類の樹木が空間をうまく利用して枝を広げ、光をとり入れています。うす暗い林の中と光がさしこむ明るい場所では、植物がどのように違うかくらべてみましょう。落ち葉の下は小動物やカビ・細菌の仲間がたくさんすんでおり、落ち葉を分解して土をつくっていきます。森林の土はふわふわしたパンのようにすき間が多く、雨水をよく吸収して大量の水を貯えることができるので「緑のダム」といわれています。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 森へ入る時は社務所へ届けましょう。
- 森は広く迷いやすいので、あまり奥深くまで入らないようにしましょう。
- 林内は踏み荒らさないようにしましょう。
- 森は蚊が多いので服装は長そでのシャツ、長ズボンを着ましょう。
- 穴を掘って土や根を観察した後は埋めてもとの状態にもどしましょう。
- 林内の落葉や腐葉土を持ち帰ってはいけません。

Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

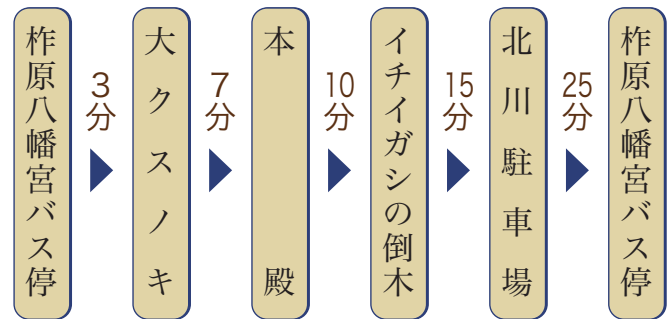
自然観察ガイド

No.6 柞原八幡宮の森 コース

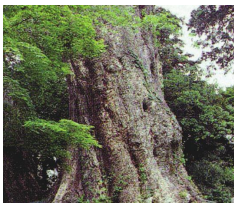


コースタイム

●徒歩……約 1 時間 (観察時間を入れて)



大分市



天然記念物の大クスノキ

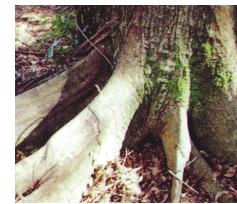
オガタマノキの花 (夏)

イチイガシの幹

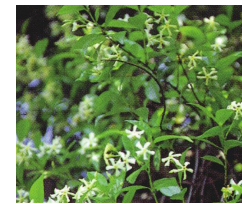
OITA

自然観察ガイド

No.6 柞原八幡宮の森 コース



コジイの板根



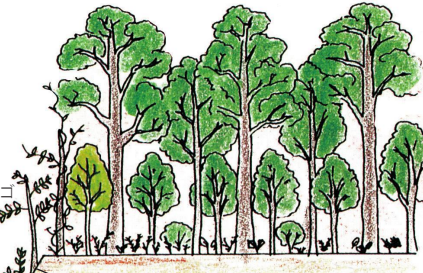
テイカカズラの花 (初夏)



ヤブツバキの花 (冬)

明るい林の植物

- つる
 - サルトリイバラ
 - ヘクソカズラ
- 高木
 - カラサザンショウ
 - ハゼノキ
 - アカメガシワ
 - クサギ
 - タラノキ
 - イヌビワ
- 低木
 - ヤブムラサキ
 - ナガバモジイチゴ
- 草本
 - クサイチゴ
 - フユイチゴ
 - チヂミザサ



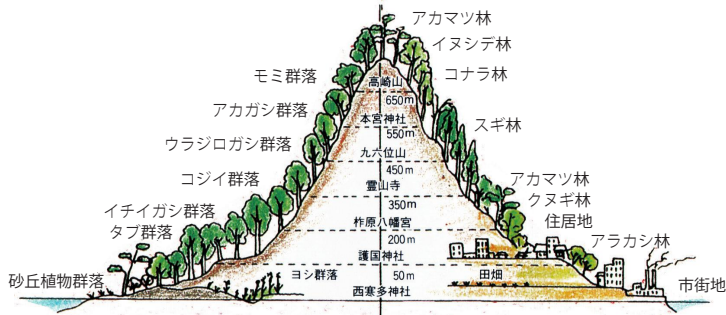
柞原八幡宮の森

自然林の植物

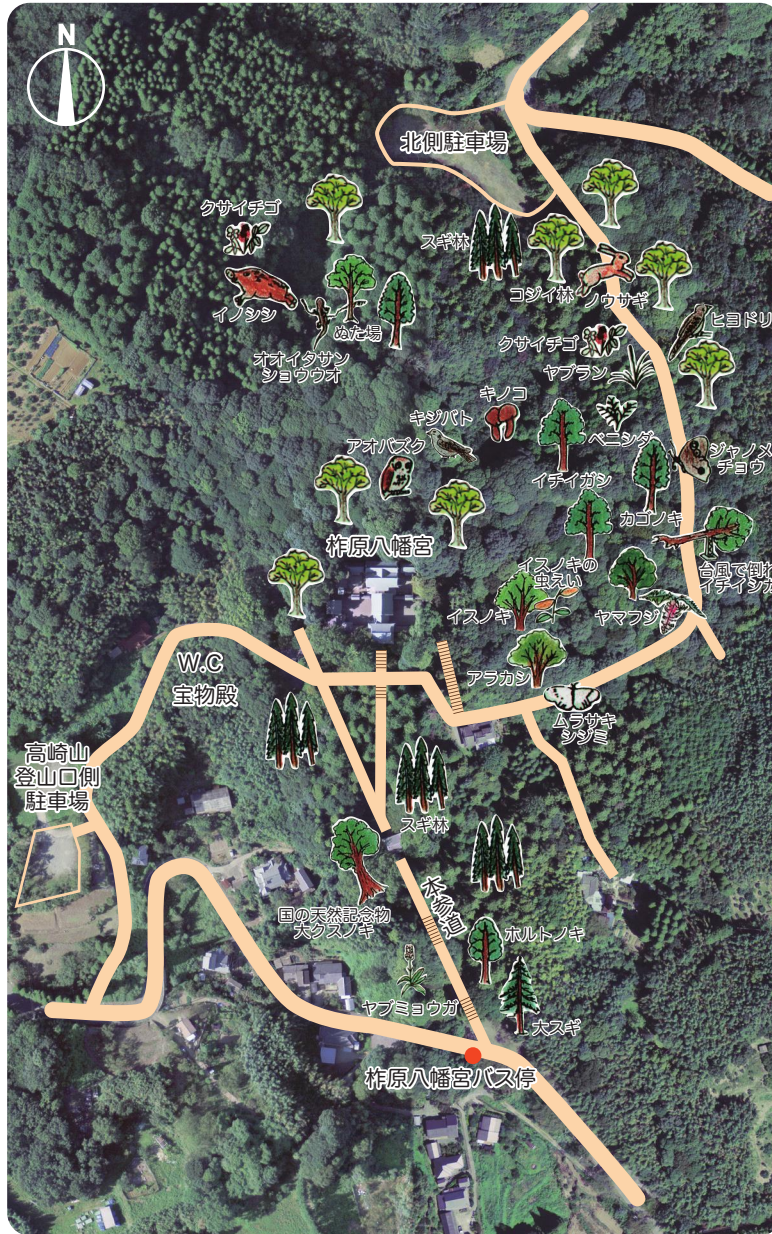
- 高木
 - イチイガシ
 - コジイ
 - イスノキ
 - カゴノキ
- 亜高木
 - ヤブツバキ
 - ミズバイ
 - ヒサカキ
- 低木
 - アオキ
 - イズセンリョウ
- 草本
 - ベニシダ
 - ツルコウジ
 - ヤブラン

<自然の姿>

<人手が加わった状態>



大分市の自然と土地利用



イスノキの虫えい (夏)



オオワライタケ (夏~秋)



クサイチゴの果実 (夏)



ウチワタケ (夏)



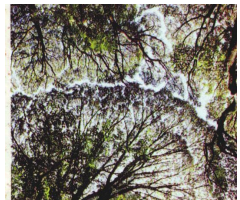
ヒラタケグモ



ヤブコウジ (秋)



アオバズク (夏)



枝をはりめぐらしたコジイ



カゴノキの幹



イヌビワの果実 (夏)



Return to Nature

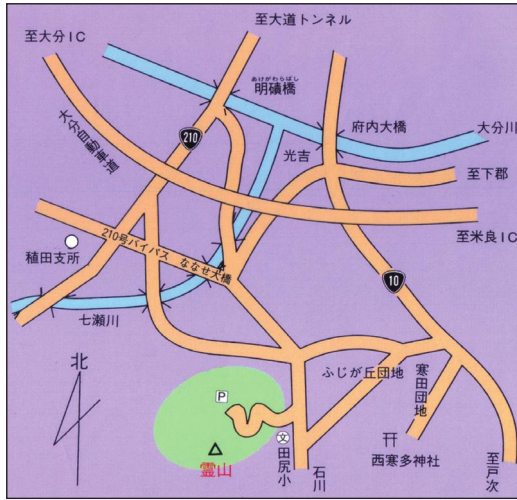


柞原八幡宮の森の外観

アプローチ

※バスが通っていないため、自家用車の利用が必要です。
田尻から徒歩で登ると展望が良いです。
(片道約1時間)

●駐車場……約50台収用可



自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 霊山寺の池の周辺はオオイタサンショウウオの生息地として、大分市の天然記念物に指定されています。池に足を踏み入れたり、採取したりしてはいけません。
- 外灯での夜の昆虫採集は、白い布を張ると効果があります。

フィールドストーリー

霊山寺駐車場からぐるりと一周巡ることができる徒歩コースがあります。歩いておおよそ30分。ゆっくり観察しながら、1時間以上は使いたいコースです。

駐車場のそばに大きなエノキがあります。このエノキをえさにするのはゴマダラチョウやテングチョウ、ヤマトタムシなどです。

寺のすぐ上には、杉林に囲まれた池があり、この付近はオオイタサンショウウオの生息地です。

坂を一気に登ると旧青年の家跡地が見えてきます。青年の家跡地から大分市街地が一望できます。また、斜面のツツジの花には、ミヤマカラスアゲハほか多くのチョウ類が集まります。正面の外灯には、夜になると、各種の昆虫が集まり、珍しい種類も発見されています。

ここをさらに進むと、春にはツマキチョウやミヤマセセリ、夏は道沿いにハンミョウなども飛んできます。周囲の森はコジイやアラカシ、タブノキなどの常緑樹にエノキやコナラなど落葉樹が混じっています。また、山頂へ向かう登山道を歩くとウラジロガシやアカガシなどの自然林が見られます。

夏のころには、カッコウやホトトギスの声も聞けます。

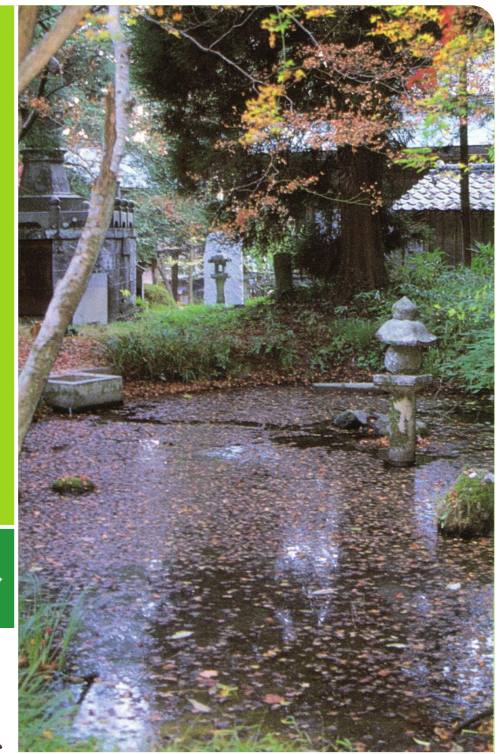
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

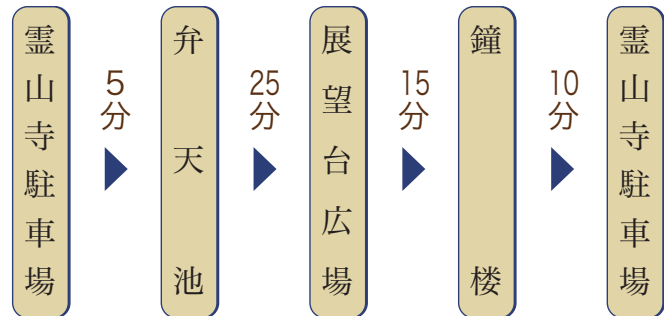
自然観察ガイド

No.7 霊山コース



コースタイム

●徒歩……約1時間(観察時間を入れて)



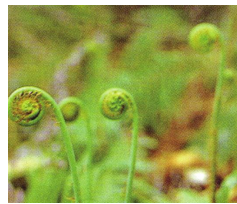
大分市



イタヤマキチョッキリ (春)



オオイタサンショウウオ (冬~初春)



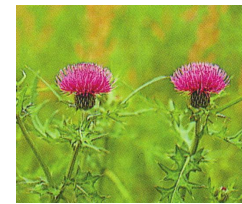
ウラジロ (春)

OITA 自然観察ガイド

No.7 霊山 コース



ノリウツギ (夏)



ノアザミ (初夏)



テイカカズラの花 (夏)



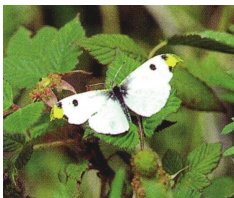
オオムラサキの幼虫 (冬)



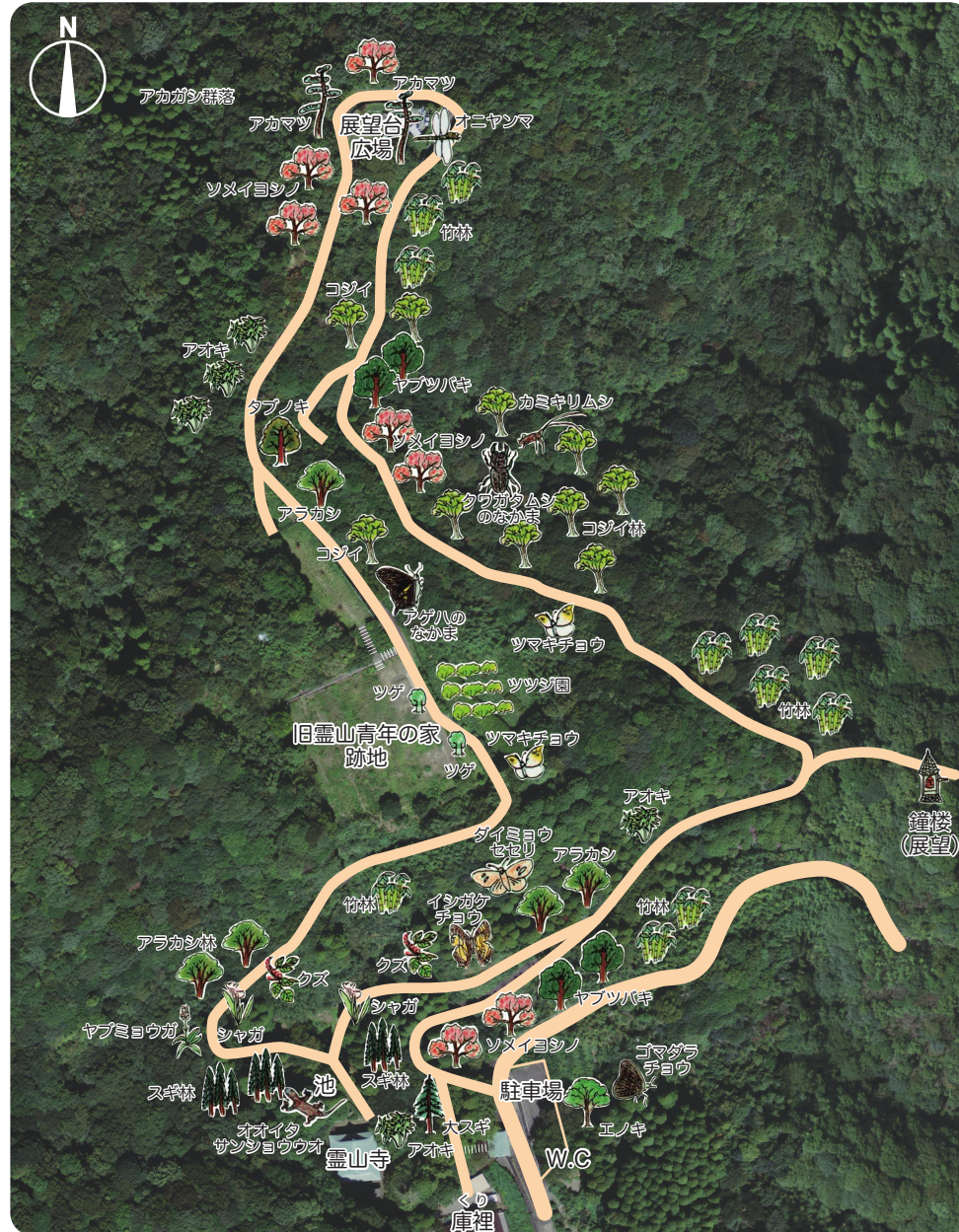
マユタテアカネ (夏)



サカハチチョウ (初夏)



ツマキチョウ (初春)



ニワトコ (夏)



ヤブミヨウガの花 (夏)



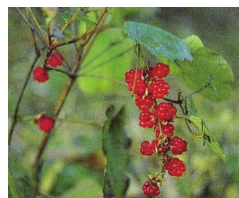
ゴンズイ (夏)



ヤブツバキ (冬)



ツチグリ (冬)



フユイチゴ (冬)



アプローチ

- ※バスが通っていないため、自家用車を利用が必要です。
●駐車場……展示館約 30 台、多目的広場約 100 台
収用可



フィールド ストーリー

自然観察するには、「県民の森」の施設である展示館を起点として、①人工池周辺、②キャンプ場周辺、③丸塚広場周辺が適しています。

- ①人工池周辺では、コウホネ、スイレンなどの水生植物や初夏から真夏にかけて道端にはホタルブクロやツリフネソウなどのきれいな花がたのしめます。また、ガチョウ、カイツブリ、カワセミなどの水鳥やドンコなど魚の行動が観察できます。さらにウグイス、ホオジロなどの野鳥の声も聞かれます。
- ②キャンプ場周辺は、初夏の頃、エゴノキの白い花、葉の上に花をつけるハナイカダ、夏から秋にかけてピンクの花をつけるカワラナデシコや黄色いオミナエシなど可愛らしい花をつける植物が観察できます。谷川ではサワガニ、トンボのヤゴ、カワニナなどの水生動物などもみられます。
- ③丸塚広場周辺では、初夏の日当たりのよい道端に白い花をつけたオカトラノオの花が咲き、チョウの仲間が集まります。また、樹木展示園付近は春にコブシの花、サクラの花、初夏にヤマツツジの花がみごとです。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 人工池周辺池周辺コースでは池に入らないようにしましょう。
- キャンプ場では、草むらのマムシに注意し、キャンプマナーを守りましょう。
- ハチ（特にスズメバチ）に気をつけましょう。



Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.8 青少年の森
コース



コースタイム



①人工池周辺 約 1 時間（観察時間を入れて）

展示館駐車場 ⇒ 池の周辺 ⇒ 展示館駐車場

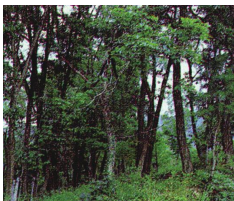
②キャンプ場周辺 約 1 時間（観察時間を入れて）

展示館駐車場 ⇒ キャンプ場周辺 ⇒ 展示館駐車場
（水遊びができる）

③丸塚広場 約 1 時間（観察時間を入れて）

多目的広場駐車場 ⇒ 丸塚広場 ⇒ キャンプ場周辺
⇒ 多目的広場駐車場

大分市



クヌギ林



ニシカワトンボ (夏)



キブシの花 (春)

OITA 自然観察ガイド

No.8 青少年の森 コース



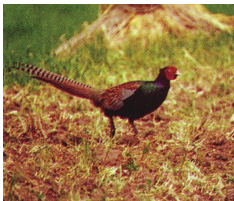
グンバイトンボ (6月)



ガチョウ



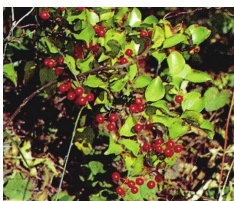
ハナイカダの果実 (夏)



キジ



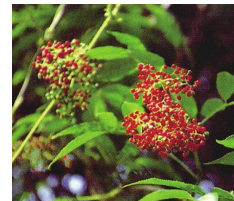
ツリフネソウ (秋)



サルトリイバラの果実



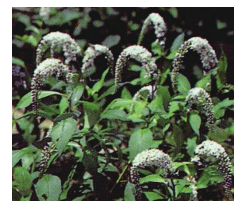
ヒヨドリジョウゴ (秋)



ニワトコの果実 (初夏)



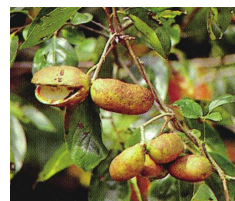
ホタルブクロ (初夏)



オカトラノオ (夏)



スイレンの花 (夏)



アケビの果実 (秋)



カマキリのなかま (夏)

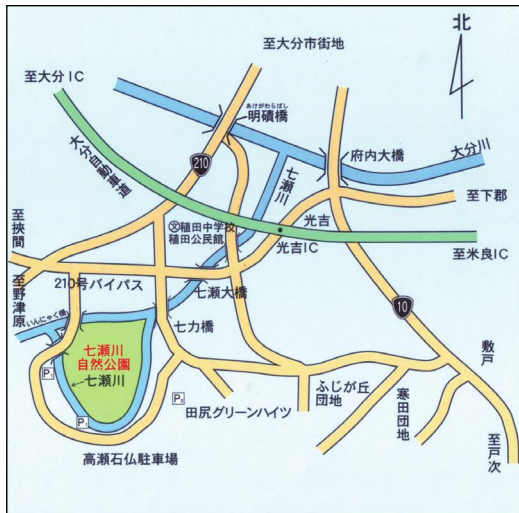


カワラナデシコ (夏)



アプローチ

- 駐車場……約 150 台収容可 (P1 約 100 台収容
P2 約 50 台収容)



フィールド ストーリー

高瀬石仏前付近の七瀬川は、くねくねとS字型に曲がって流れています。川の水は、曲がった外側の部分をけずり、泥・砂・小石などを内側につみかさねて、川原を作ります。その川原は、毎年何回かの大水で変化することがありますので、そこにすんでいる動物や生えている植物にも変化が見られます。

また、七瀬川自然公園には、竹林やアラカシなどが残っていて、昆虫類の観察にはよい場所です。さらに、水辺にはツルヨシやミゾソバなどが生えています。きれいなせせらぎでは、カジカガエル・カマツカ・ゲンジボタル・カゲロウ類・トビケラ類などの水生動物も見られ、観察するには大変良い水域です。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 川遊びは、必ず家の人にとどけ、二人以上で行きましょう。
- 川原は石ころ遊びにもっとも良い場所です。大いに利用しましょう。
- 川の流れるようす(地形)を良く観察しましょう。
- 水生生物の種類で、水のごれぐあい調べてみましょう。
- 川のようなすや動植物をスケッチしたり、写真を撮ったりして、記録しておきましょう。

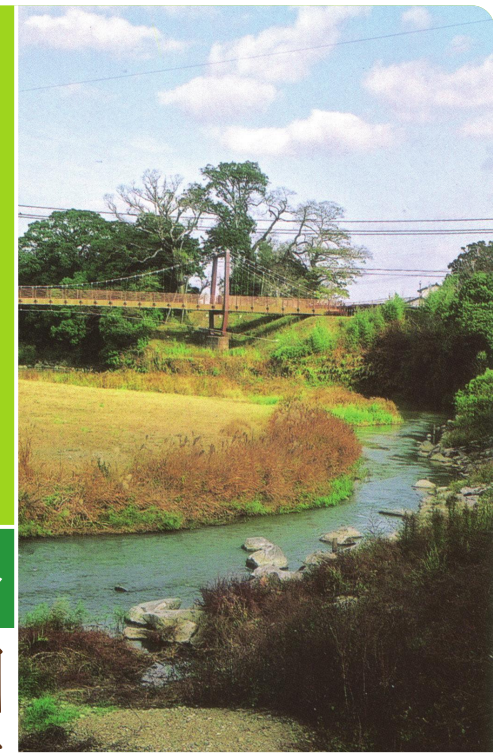
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.9 七瀬川自然公園
コース



コースタイム

● 観察時間……約 1 時間

浅瀬は水遊びに最適です!

夏はカブトムシを見ることが出来るよ!

駐車場

川原

クヌギ林

駐車場

大分市



スジグロシロチョウ (初夏)



ダイサギ コサギ



カブトムシ (夏)



サカハチチョウ (夏)



カナブン仲間、
ハナムグリの仲間



シロダモ (秋)



ツルヨシ (夏)



ヤダケ (秋)



ミゾソバの花 (秋)

OITA 自然観察ガイド

No.9 七瀬川自然公園 コース



センニンソウ (夏)



ツユクサ (夏)



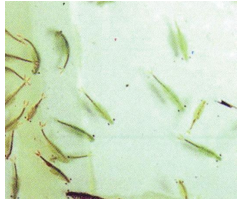
ヨメナ (秋)



クヌギ (秋)



ネジバナ (夏)



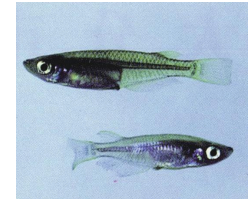
ホウネンエビ (初夏)



ジュズダム (夏~秋)



カジカガエル (夏)



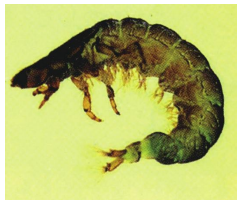
メダカ



サワガニ (春~秋)



ゲンジボタル (初夏)

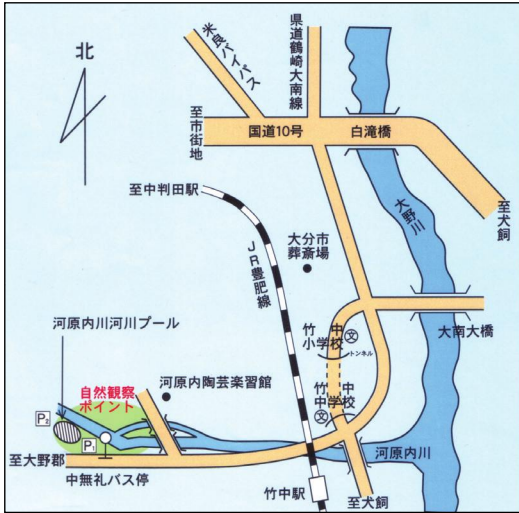


ウルマーシマトビゲラの幼虫



アプローチ

- バス……中無礼バス停から約1時間
- 駐車場……約150台収容可 (P1 約26台収容
P2 約64台収容)



自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら

- 河川プールや川遊びは、必ず家の人にとどけ、二人以上で行きましょう。
- マムシやハチには十分注意しましょう。
- 以下のような危険な植物にも注意しましょう。
ノイバラ (トゲ) イラクサ (トゲ)
ハゼノキ (汁がつくとまける)
ヒガンバナ (食べられない、有毒植物)
- 川原内沿いの道路は大型車両が通行するので十分に気をつけましょう。

フィールドストーリー

かわらうちがわ
河原内川河川プール付近の川原には一面にツルヨシの群落があります。ツルヨシは最初横の茎をのぼし、次にその節から根と上に伸びる茎を出して、どんどん増えていくことができます。そのため大水にあっても、ツルヨシの群落はすぐ回復することができます。そのほかオオイヌタデやジュズダマ・ミゾソバなどの水辺の植物がはえています。

川原にはハグロトンボやハンミョウなどの昆虫類が飛びまわっていますし、ナガコガネグモなどのクモ類が巣を作っています。

きれいな流れの中にはオイカワ・ドンコなどの魚が泳ぎ、きれいな声で鳴くカジカガエルもいます。また、カゲロウ類・トンボ類・トビケラ類などの幼虫がすんでいます。さらにゲンジボタルもいます。

川原の石はれき岩と砂岩という石で、今からおおよそ1億年前という、とても古い時代にできたといわれています。



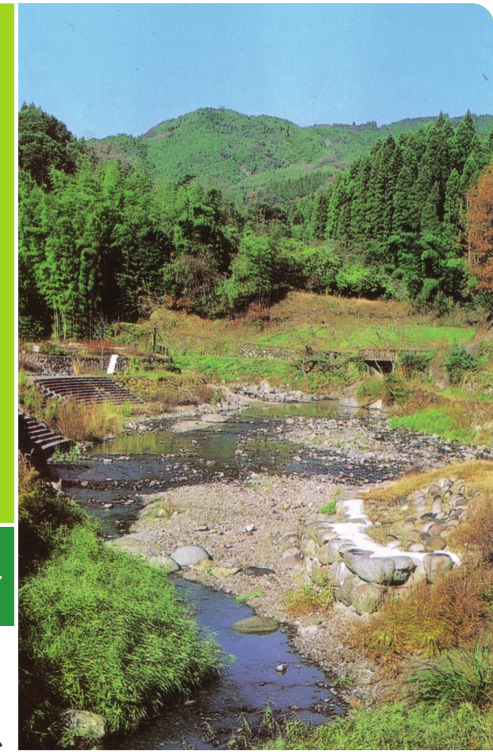
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.10 河原内川 コース



コースタイム

- 観察時間……約40分
- 水遊びをするのに最適です。



駐
車
場

川
の
中
を
観
察

駐
車
場

大分市



ニホンアマガエル (夏)



サワガニ (春～秋)



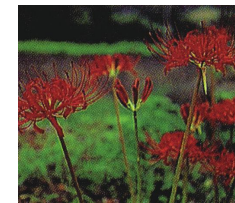
カジカガエル (夏)

OITA 自然観察ガイド

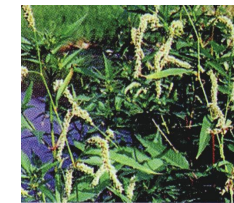
No.10河原内川コース



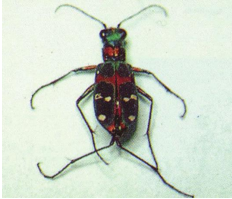
トキワススキ (夏)



ヒガンバナ (秋)



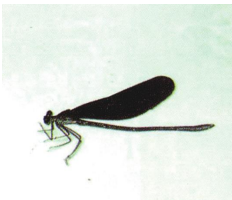
オオイヌタデ (夏～秋)



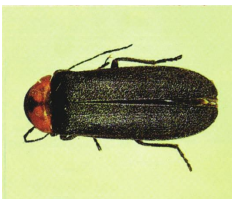
ハンミョウ (夏)



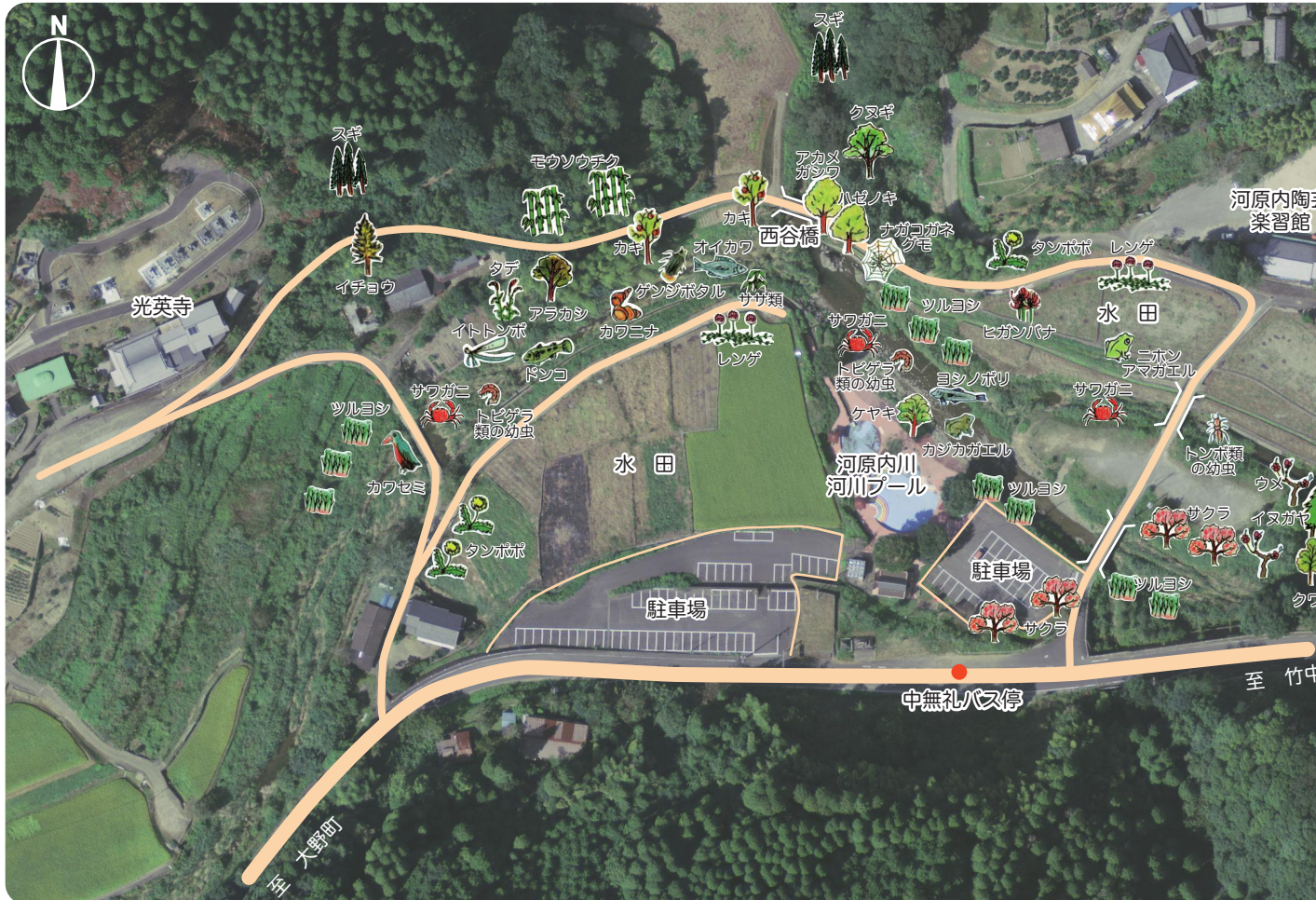
カワセミ



ハグロトンボ (夏)



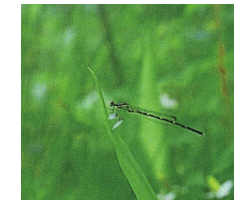
ゲンジボタル (初夏)



イボグサ (夏)



ジュズダマ (夏～秋)



イトトンボ類 (夏)



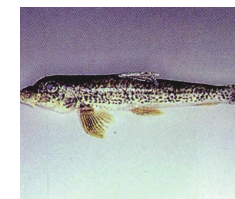
セグロセキレイ



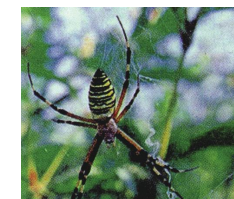
ドンコ



れき岩



カマツカ



ナガコガネグモ (夏～秋)

アプローチ

佐賀関コース

- バス……佐賀関バス停より関崎海星館まで車で約10分
- 駐車場……関崎海星館にあり

神崎海浜コース

- 鉄道……JR幸崎駅より徒歩15分
- 駐車場……約250台(有料)



フィールドストーリー

佐賀関半島は、もみのきやま 樅木山(484m)を頂点とする樅木山系が東へ延びて突き出しているため、黒潮が洗う白杵湾側と冬季北西季節風が吹き付ける別府湾側で環境が大きく変わります。白杵湾に面した南岸はハマオモト、アコウが生育し、岩場にはウバメガシ群落が見られます。これと対称的に北岸では、ハマビワ群落かいしよくがいが海食崖を覆うように帯状に分布しています。神崎海水浴場には、砂浜の水際近くにコウボウシバ、コウボウムギが、その後方にはハマヒルガオ、ハマゴウ、ハマエンドウなどの海浜植物が群落を作っています。また、海食崖はハマビワ群落に被われており、タブノキ、クロガネモチ、トベラ、ハマヒサカキ等の樹木が生育しています。

自然を観察する心得

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

このコースで特に気をつけることがら 佐賀関半島コース

- 道が狭いので、駐車場所に気をつけましょう。
- 急斜面ですべらないように注意しましょう。

神崎海浜コース

- こうざき自然海浜公園(海水浴場)のルールに従いましょう。
- 海浜植物をふみつけないように注意しましょう。

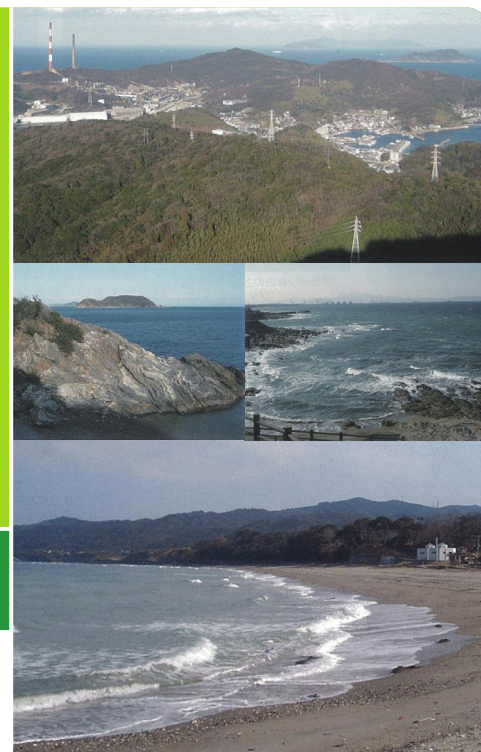
Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.11 佐賀関コース

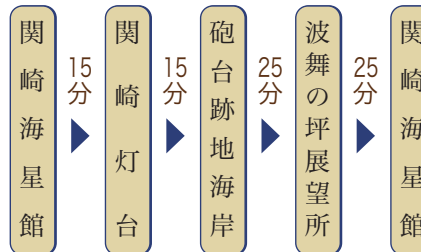


コースタイム



<佐賀関コース>

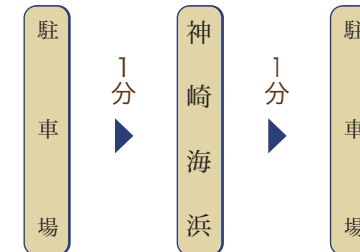
- 徒歩……約1時間20分(観察時間を入れて)



- ※黒ヶ浜 約30分(観察時間を入れて)
- ※スタジオ群落 約30分(観察時間を入れて)

<神崎海浜コース>

- 徒歩……約30分(観察時間を入れて)



大分市



アゼトウナ



オオズミハネカクシ



サシバ



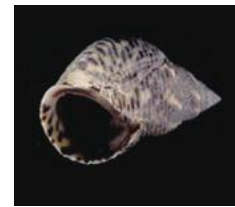
関崎灯台下の海岸



黒ヶ浜

OITA 自然観察ガイド

No.11 佐賀 関コース



マルウズラタマキビ



ナガミミズハゼ



ハマビワ



佐賀関半島コース



クロマツ植栽



ハマビワ林内のノシラン



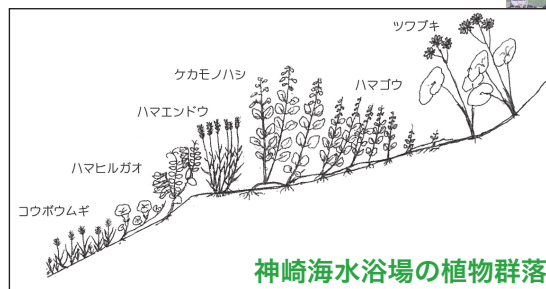
ハマヒルガオ



コウボウムギ



こうざき 神崎海浜コース



神崎海水浴場の植物群落



ハマゴウ



小猫川河口付近のハマボウ

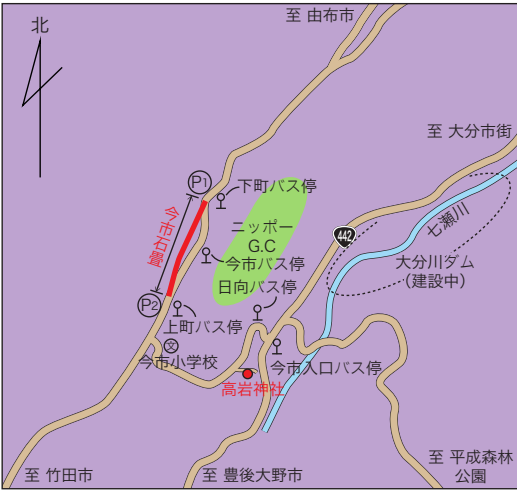
アプローチ

今市石畳コース

- バス……下町・今市・上町バス停からすぐ
- 駐車場……(P1) 3~4台
(P2) 60台(ひぐらし茶屋駐車場)

高岩神社コース

- バス……日向バス停より約1km



フィールドストーリー

今市の石畳道路は、江戸時代の参勤交代道路の宿場町として栄え、本陣、脇本陣をはじめ、茶屋、代官所造酒屋等、軒を並べてにぎわっていましたが。道幅 8.5m の中央に幅 2.1m、長さ 660m にわたり、全面平石が敷き詰められており、全国的にもこれだけの長さの石畳が残っているのは稀で、県文化財史跡に指定されています。

高岩神社は、天安 2 年に紀州熊野本宮の神主が建立したとされています。御神木のトチノキは、樹齢 1,150 年、幹周 7m、樹高 35m、枝葉は 30m 程に広がっています。他に 2 本のトチノキ、ナギ、イスノキ等の古木も生育しています。

観察でのマナー

- 耳をすまして聞いてみましょう。
- むだな採集はやめて、よく観察しましょう。
- 自然を傷つけないようにしましょう。
- 火は使わないようにしましょう。
- ゴミは全部もって帰りましょう。

自然を観察する心得

このコースで特に気をつけることがら

- 今市石畳コース
 - 地元の人々の迷惑にならないよう注意しましょう。
- 高岩神社コース
 - 車の往来に気をつけて歩きましょう。



Return to Nature

自然と親しまおう!

OITA

自然観察ガイド

No.12 今市コース

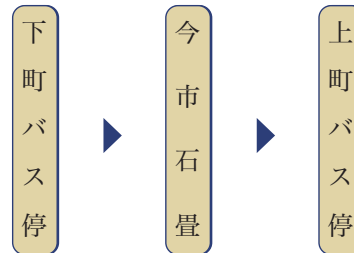


コースタイム



<今市石畳コース>

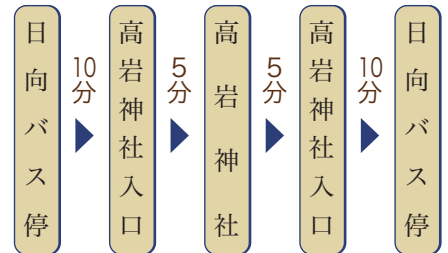
●徒歩……約 20 分 (観察時間を入れて)



20分

<高岩神社コース>

●徒歩……約 30 分 (観察時間を入れて)



大分市



貝殻岳



貝殻岳のしし垣

OITA 自然観察ガイド

No.12 今市 コース



クマタカ



山中花崗閃緑岩



案内板



萬屋跡



今市石畳道路



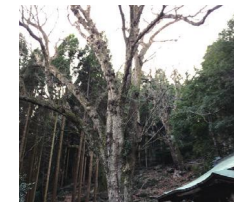
今市石畳道路



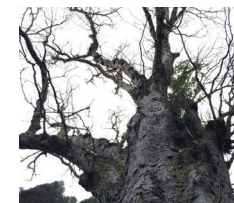
スナヤツメ



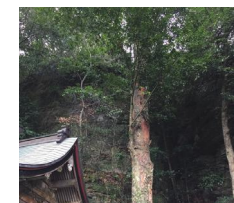
神社へ向かう林道



トチノキ



トチノキ



ナギ



高岩神社の裏の岩石

